武　一　中

令和４年３月２２日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ３－１５号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

知・好・楽

校　長　　中嶋　建一郎

18日は、第75回卒業式でした。コロナウイルスへの対応での卒業式は３回目となりました。卒業生に向けてのメッセージを紹介します。

卒業に向けて、今日は、脳の研究でも有名な東大の教授、池谷裕二（いけがや　ゆうじ）さんの講演の一部を皆さんに紹介しようと思います。「未来の脳を考える」という演題で話された中に「将来を選ぶこと」についての内容があり、皆さんのこれからに関係深いと思い、話すことにしました。

池谷さんは、将来を選ぶ２つの原理は、「夢を叶えようとすること」と、「消去法」だと言っています。そして、「今の時代、この２つで選んでいくのはそぐわない」とも言っています。理由として、「今の小学生の65％は将来、現在はない仕事に就く」という記事を引き合いに、「夢を持っても 65％は叶わない。夢を抱くというのは、今ある仕事から選ぶことで、それは35％しか残っていない。そんな狭い可能性に自分を閉じ込めるのはなんともったいないことか」と言っています。「消去法」についても「今ある仕事しか消せないからダメ」だと。

答えは１つしかないそうです。それは、「将来どのような世界がやってきても順応できる柔軟性、適応力を身に付けること」だそうです。

そして、「それを牽引する（ひっぱっていく）力が好奇心。それは楽しくご機嫌に生きる力、熱意。こういう時代だからこそ熱意が大切」と話しています。どうでしょうか。「好奇心、楽しくご機嫌に生きる力、熱意」。これが、皆さんが柔軟性や適応力を身に付けるポイントになるようです。皆さんは「楽しく」「熱意」をもって取り組めることに思い当たるものはありますか。

池谷さんは講演の締めくくりに、「論語」の言葉を紹介しています。

「知・好・楽」。意味は、「ただ知っているだけの人は、好きでやっている人にはかなわない。さらに、好き好んでやっている人は、楽しんでやっている人には勝てない」だそうです。先ほどの柔軟性や適応力を身に付けるには「楽しくご機嫌に生きる力、熱意」が大切という話につながりました。

「知・好・楽」。この言葉、私は今回、初めて知りました。皆さんの卒業式とともに記憶に留めておこうと思います。

◇◇一中生の活躍◇◇

【令和３年度　東京都　体育優良生徒】

・佐野　道大　　・吉嶺　咲梨

【令和３年度　中学校　優良卒業生】

・徳永　大空　　・新名　結生

【令和３年度　防災標語コンクール】

・優秀作品　　三原　直